これまでの超小型モビリティに関する取組

★超小型電気自動車26台を導入

平成26年10月24日、超小型電気自動車(超小型モビリティ)26台(1人乗り25台、2人乗り1台)を導入し、実証事業を開始しました。 津山市で導入したのは「1人乗りコムス」25台と「2人乗りコムス」1台で、国や県(※)、製造元のトヨタ車体株式会社のご支援とご協力により 実現しました。

導入したコムスには、「TSUYAMA CARBON ZERO」の津山市オリジナルのステッカーを貼っています。

※環境省グリーンプラン・パートナーシップ事業及び岡山県おかやまスマートタウン構想パイロット地域支援事業を活用。

2人乗りコムスは、まだ一般には市販されていない試作車のため、国土交通省の「超小型モビリティ認定制度」によって走行が初めて可能となります。

津山市は県内で初めて認定を受け、この認定制度を活用して、平成26年から平成31年まで市内で実証実験を実施しました。 「2人乗りコムス」の導入は、愛知県豊田市に次いで2番目でした。

1人乗りコムス25台は、平成30年まで、「津山市超小型モビリティ導入協議会」(大学、高専、商店街関係者、地元企業、まちづくり協議会、民間団体、市などで構成)にて様々な活用方法を検討しました。

商品配達、企業訪問、渉外活動、公用車等で活用し、二酸化炭素の削減効果の測定や新たな活用方法等の幅広い可能性を官民協働で実証しました。

また、平成28年9月から平成30年まで、個人の生活場面における活用検証として、個人の方への超小型モビリティ貸し出し事業を行いました。

現在は、主に津山市の公用車として活用しています。









◆加茂郷フルマラソン

毎年4月に開催されている「加茂郷フルマラソン大会」で平成26年から先導車を務めています。 毎年、全国から2,000人以上で参加するこの大会は、清流と新緑の里で行われます。 環境に優しい超小型モビリティは先導車にぴったりです。





◆交通安全教室

平成26年から、津山市内の小学校で超小型モビリティと一緒に交通安全教室を行っています。





試乗会の開催

平成28年から平成31年の間、年に1回程度、津山自動車学校(津山市林田)にて、自動車学校のコースにて超小型モビリティの試乗会を実施しました。

電気自動車に興味がある方や新しいカテゴリーの車に乗ってみたい方、環境に優しい車を知りたい方が集まり、コースでの試乗、説明DVDの視聴などを行いました。







ごんごまつり 和っしょい津山

平成26年8月3日に開催された「津山納涼ごんごまつり」の中で行われた踊り「和っしょい津山」の先導車を務めました。



e-moの導入実証実験

令和元年に、津山市内の企業である株式会社Paddockが、超小型モビリティ・e-moを開発しました。

津山市では令和2年11月から令和3年10月末まで、株式会社Paddockのご厚意により、1台を公用車としてお借りして、導入実証実験を実施しました。

e-moは一人乗りという点では従来の超小型モビリティと同様ですが、デザインが普通自動車のような外観のため、寒い冬も比較的快適に運転できます。

目印として車体後部に「TSUYAMA CARBON ZERO」と津山市ロゴマークのステッカーを貼らせていただきました。 (e-moの購入や車体性能については株式会社Paddockにお問い合わせください。)





『脱炭素×観光』 超小型モビリティ レンタル実証事業

過疎化が進む地域では、公共交通の利用者の低下や、ガソリンスタンド空白地域における移動手段の確保などが課題となっています。 これらの課題の解決を図るため、令和5年9月から11月に、美作河井駅発着で、観光客をターゲットとした超小型モビリティ(EV)のレンタル事業を実証事業を実施しました。

この実証事業は、(株)パドック、阿波養魚組合、(株)DIVE、JR西日本岡山支社、(公社)津山市観光協会DMOと連携して行いました。





自然豊かな阿波地域で非日常を味わい、阿波森林公園で軽食を食べる、渓流釣りを体験する、電動アシストマウンテンバイクに乗り換えて出かけるなど、様々な楽しみ方でご利用いただきました。

- 一般試乗モニターの様子です。
- 一般の方が津山駅から因美線に乗って美作河井駅まで行き、下車後、3人乗り超小型モビリティに乗って阿波まで行きました。







美作河井駅にてe-mo1とe-mo3でお迎え。出発前に運転の仕方をレクチャーしてもらい、阿波へ向かいます。







阿波交流館では、おいしい御飯を食べたり、温泉に入ったりしている間に充電します。 EVなので音も小さく、会話を楽しみながら阿波まで行けたという感想をいただきました。